

(別記)

令和7年度北相木村地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

北相木村では、主食用米の作付は僅かであり、転作作物としてハクサイ・レタス・キャベツ類を中心とした高原野菜、キクを主とした花卉が主要作物となっている。近年は野菜ではハウレン草、ズッキーニ等の小物野菜、花卉ではグラジオラス、スターチスの作付も増えている。

新規就農者の受け入れ、担い手への農地の集積を進めているものの、既存農家の高齢化による農家戸数の自然減少による不作付地の拡大も進んでいる。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当村の水田は一筆ごとの面積が10aに満たないものが多く形状も悪い。このため大型の農耕車での耕作が出来ず、面積の狭い水田を活用するには、収益力の高い野菜や菊、グラジオラスなどの花きの生産量を増やすと共に、その他花き・花木の生産振興を図っていく必要がある。なお、大型の農業機械が入れる一部の場所は引き続きレタス類などの高原野菜の作付けを維持していく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

ブロックローテーションの推進をはかり連作障害の解消や作付けの団地化による生産量の高位安定化と作業の効率化を進める。なお、大型の農業機械が入れる一部の場所は引き続きレタス類などの高原野菜の作付けを維持していく。その一方で耕作されていない水田も多く存在することから、それら今後の利用意向について、水稻作の活用見込みか、畑作物作付けの継続か確認していき、限りある農地を有効に活用するため、畑作化水田における収益力の高い野菜や菊、グラジオラスなどの花きの生産量を増やすと共に、その他花き・花木の生産振興を図っていく。

4 作物ごとの取組方針等

村内の約50haの水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

当村の高冷地気候に適した品種の導入により安定した生産と品質の確保を図り、現状の生産量を維持していく。

(2) 備蓄米

取り組みなし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

取り組みなし

イ 米粉用米

取り組みなし

ウ 新市場開拓用米
取り組みなし

エ WCS 用稲
取り組みなし

オ 加工用米
取り組みなし

(4) 麦、大豆、飼料作物
取り組みなし

(5) そば、なたね
取り組みなし

(6) 地力増進作物
取り組みなし

(7) 高収益作物

白菜、キャベツ、レタス類等の高原野菜の他、小規模な農地でも収益が見込めるズッキーニ、ハウレンソウ等小物野菜の生産振興を図る。特に、白菜、キャベツ等の高原野菜については、現状における村の主要作物であり今後も産地としての地位を維持することが重要であり、生産面積の増加を図っていく。

<花き・花木>

・キク

村ではキクを中心とした花卉の栽培が行われている。この地域のキクは冷涼な気候により色鮮やかで長持ちする為、市場での評価が高く産地として地位が確立されている。比較的小規模な農地でも安定した収益が確保できるため、キクを重点品目として位置付け、水田での更なる作付を増やし、生産量を増やすことで、当該地域のキクの更なるブランド化を図っていくこととする。

・グラジオラス

平成 29 年度より新品目として導入しており、キクに比べ比較的管理がしやすく初心者でも栽培が容易であり、市場からの生産要望も多くある。このため、重点品目に位置付け、担い手の増加を図りながら生産面積の増加を図っていく。

・スターチス

令和元年度より新品目として導入している。ここ数年の流通の変化に伴い大産地である北海道産が減少に転じており、市場からの生産要望も多くある。このため、重点品目に位置付け、担い手の増加を図りながら生産面積の増加を図っていく。

・キク、グラジオラス、スターチス以外の花き・花木

キク、グラジオラス、スターチス以外の花き・花木については、安定した生産と品質の確保を図り、現状の生産量を維持していく。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1	0	1	0	1	0
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	87	0	88	0	88	0
・野菜	79	0	80	0	80	0
・花き・花木	8	0	8	0	8	0
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	レタス類、ハクサイ、キャベツ（基幹作）	地域振興作物（野菜）への生産支援	野菜類の作付拡大を図る(a)	（令和6年度）331a	（令和7年度）330a （令和8年度）330a
1	その他野菜（基幹作） （その他野菜・作物一覧参照）	地域振興作物（野菜）への生産支援	野菜類の作付拡大を図る(a)	（令和6年度）579a	（令和7年度）580a （令和8年度）580a
2	キク、グラジオラス、スターチス（基幹作）	地域振興作物（花き・花木）への生産支援	花き・花木の作付拡大を図る(a)	（令和6年度）368a	（令和7年度）400a （令和8年度）410a
2	その他花き・花木（基幹作） （その他花き花木・作物一覧参照）	地域振興作物（花き・花木）への生産支援	花き・花木の作付拡大を図る(a)	（令和6年度）35a	（令和7年度）40a （令和8年度）40a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:長野県

協議会名:北相木村農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物(野菜)への生産支援	1	15,000	レタス類・ハクサイ・キャベツ(基幹作)	販売目的で生産する対象作物の作付面積に応じて支援
1	地域振興作物(野菜)への生産支援	1	10,000	その他野菜(基幹作)(その他野菜・作物一覧参照)	販売目的で生産する対象作物の作付面積に応じて支援
2	地域振興作物(花き・花木)への生産支援	1	15,000	キク・グラジオラス・スターチス(基幹作)	販売目的で生産する対象作物の作付面積に応じて支援
2	地域振興作物(花き・花木)への生産支援	1	10,000	その他花き・花木(基幹作)(その他花き花木・作物一覧参照)	販売目的で生産する対象作物の作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。